

1学年

☆科学リテラシー講座[社会人講師授業] 10月13日(水)

科学リテラシー講座は、社会の第一線で活躍している社会人の方から、仕事との向き合い方や、どのように仕事や研究を進めているかを聞き、実社会で必要とされている科学リテラシーについて知ることを目的としています。今年度も多くの講師の方に参加していただき、高生に向けて熱い講義をしていただきました。

【講師一覧】

コース	講師	所属
理学系 1 (数学・統計学)	小澤 淳	株式会社 内外/東京鋳造所 代表取締役
理学系 2 (化学・生物学・薬学)	須藤 豊	高崎健康福祉大学薬学部薬学科 准教授
理工学系 (物理学・工学全般)	青木 悠樹	群馬大学数理データ科学教育研究センター准教授
工学系 (機械・電子・建築)	奥原 暁子	株式会社ペリテック教育グループ
医学系 1 (医学・歯学)	徳江 浩之	群馬大学大学院医学系研究科 助教
医学系 2 (医学・スポーツ)	井澤 秀典	元ラグビー日本代表 ヘッドトレーナー
経済学・経営学系	山根 聡之	関東学園大学経済学部経済学科 准教授
法学・政治学系	船戸いずみ	石原・関・猿谷法律事務所 弁護士
文学(史学)系	小西いずみ	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授
教育学系	沼田 翔二郎	NPO 法人 DNA 代表理事



☆科学リテラシー研修[東北研修] 11月18日(木)、19日(金)

科学リテラシー研修の目的は①「県外の研究施設等の見学を通して、最先端の知見や研究の一端に触れることにより、科学的な思考力の重要性を実感し、高度で発展的な知識・技能を身につける契機とする。」、②「東日本大震災の被災地を訪れ、語り部の説明を聞きながら、被害と復興の状況を自らの目で確かめ、社会的な課題の解決に対する意識や社会貢献の意識を高める。」となっています。今年度は天候にも恵まれ、充実した研修となりました。



○東日本大震災被災地訪問

宮城県南三陸町を訪れ、語り部ガイドの方の説明を聞きながら、震災遺構を巡りました。震災から10年が経ちますが、まだその爪痕は色濃く残っており、復興のあり方を考える機会となりました。

○福島県農業総合センター（郡山市）

農業に関する技術開発機能と農業教育機能を兼ね備えた福島県農業振興の拠点。東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所事故の発生以後、放射性物質の除去・低減、避難地域等における営農再開・農業再生業務を行っている。今回の訪問では農林水産物の放射線モニタリングの実施状況を見学し、その業務の過酷さを痛感することができました。



○福島空港メガソーラー（須賀川市）

「再生可能エネルギーの先駆けの地」の実現を目指す福島県において、再生可能エネルギー事業推進の中核となる施設となっている。世界各国の多種多様なソーラーパネルを運用し、評価を行っており、エネルギー問題への意識を高めることができました。

2学年 社会課題に対する課題研究

第2学年サイエンス・プロジェクトⅡβ（S・PⅡβ）では、社会課題を発見し問題解決の方策を探ることをテーマとして研究に取り組んでいます。1学期の県内OB訪問「先輩、教えてください!」で認識した社会課題を基に新たな問いを設定し、全国的な視点から調査・検証・考察を行います。修学旅行の中でも探究活動を行い、2・3学期を通じて研究を深めています。現在は1月の最終成果発表会で研究成果を発表すべく、研究内容のまとめ・考察を行っています。

